※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	２単位	年次	3 年次
使用教科書	詳述　政治・経済　（実教出版）						
副教材等	最新政治・経済資料集 2026　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業はプリントを中心にすすめていく。
・グループワーク等も行っていく予定なので積極的に授業に参加することを期待する。
・単に用語を覚えるのではなく、人間と社会の在り方についての見方、考え方を身に付け、現代における諸課題を追究したり解決しようとすることで、社会の形成者としての資質・能力の育成を目指す。そのため、定期考査だけでなく、授業中の取組みや成果等も評価してゆく。
・授業では、共通テストや私立大学の入試に対応すべく、進めていくことになるため、教科書だけでなく、資料集の利用や時事的な事項等のピックアップも随時実施してゆく。

2　学習の到達目標

・民主主義の本質に関する理解を深めることができる。
・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に考察することができる。
・現在の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会にかかわる事柄を事実をもとに多面的・多角的に考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。 様々な資料等から適切かつ効果的に情報を得、まとめる技能を身に付けている。	現代の社会にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現したり、議論したりする能力を身に付けている。	現代の社会にかかわる諸課題の把握やその解決等、よりよい社会の実現に向けての考察や議論等の経験を通して、合意形成や社会参画への自覚を高めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代の政治	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構 ・現代日本の政治	a:民主政治のあり方について理解している。 b: 日本国憲法の現在のあり方について考察している。 c: 新聞等の資料から現代の政治の特質をまとめているとともに、日常生活をつながるものとして把握している。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 課題提出	課題提出
2学期	現代の政治・現代の経済	・現代の国際政治 ・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代経済と福祉の向上	a:国際社会におけるわが国のあり方について理解している。また現代における経済社会の仕組みを理解している。 b:日常生活と経済活動の関連性について思考を深めている。 c:株や為替の動きについて、新聞などの資料をもとにまとめるなど整理している。また、 財政政策や金融政策、国民経済計算などについて事柄と、自分の生活とのかかわりをしっかりと自覚し、考察する。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 課題提出	課題提出
3学期	日本及び国際社会の諸課題の探求	・世界経済と日本 〔主題学習〕 ・地域社会の変貌と住民生活 ・雇用と労働をめぐる問題 ・これからの社会保障のあり方 ・国際経済格差の是正と国際協力 ・地球環境問題 ・主権者になるということ 等	a:わが国と世界経済との関連性について理解している。 b:労働や社会保障制度について、自らの将来と関連付けて思考を深めている。 c:地域社会の活動を理解し、その特色をまとめている。 また、世界経済の現状やその問題点、さらにはそれらの原因についての考察を様々な手段を用いて、取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 課題提出	課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度